

アドバイザー からの助言を受けて



菅原アドバイザーより

GIGAによって「こども主体」に変革していく

**小・中の授業を見ていて
かなり使えている方である**

- 子どもの姿からは、生徒一人ひとりが使えるようになっている。これまでの取り組みを続けていくべき。

**振り返りについて
質を上げていくべき**

- デジタルポートフォリオとしての振り返り ICTの活用により相互参照できる→さらに深い振り返りになる。
- さらに視点を明確に持たせる、見通しを持たせることで質の高い振り返りになるのでは？

**生徒の選択や判断の
機会を増やす**

- 自分で決めること、自分で選んでやる、自己決定の機会が増えることで、より主体的になっていく。
- そうした場面を意図的につくっていく。

**これまでの授業を立ち止
まって考える必要あり**

**持続可能で子どもの次
の意欲になる振り返り**

**教える授業
↓
子どもが考える授業**

目指す子どもの姿

自立した子ども → 自治的に生活する集団

自立した子どもとは？

自分で自分のことを決める、そして行動に移す
自分が属する組織や集団をよりよい方向になる
ように意見を出し合い、仲間と協働して変革していく人

活気に満ちた学校へ・・・



目指す子どもの姿

「自治・自立」

「自立」した学習者の姿・・・

個人のレベルは違えど、今の自分を知り、今の自分に何が必要で、どんなことをすべきかを自分で考え判断し、行動に移していく人。



①学級や生徒会

学級活動や生徒会活動においてそのスローガンを具現化しようとしてきた。

②授業内でできないか？

学校教育活動は、授業が大半を占めている。その授業内で、もっと主体的に学習に取り組める仕掛けを作れないだろうか？

自己調整学習者の育成

自由進度学習??

自己調整学習者？

- ・自分から学ぶ力・自分から考える力
- ・自分から調整する力・自分から工夫する力
- ・自分から振り返る力

これまでの授業を立ち止 まって考えてみる必要あり

板書して、それを写している時間は？

ノートは何のために使うの？

綺麗に写させるため？子どもの思考を整理するため？
新たな発想を促すため？

子ども一人ひとりの考えを、黒板に書か
せる意味は？

生徒を一行に並べて丸つけする意味は？

なぜ？どんな教育的意味があるの？

主体性を引き出す鍵は、動機付け(motivation)

自律的な動機づけとは？ = 同一化と内発

「自己決定理論」

弱

外的動機づけ … 褒められたい 叱られたくない
ご褒美がもらえる

取り入れ的動機づけ … 不安だから 義務だから
恥ずかしいから

同一化的動機づけ … 大切だから 価値があるから
役に立つから

強

内発的動機づけ … 好きだから 楽しいから
面白いから

<出典> Ryan, R. M., & Deci, E. L. (2017). *Self-determination theory: Basic psychological needs in motivation, development, and wellness*. New York: Guilford Press.

- 付けたいのは“自己調整”の力
- 振り返りが大切
- フィードバックが必須
- 自分づくり教育で学びに向かう力を醸成していくことも大事

振り返りについて

どのような振り返りが望ましいのか？

- 「**次の学習の改善**」につながる振り返りが、自己調整を含み込んだ「粘り強さ」を生むのではないか。
- 現状, 「**次の学習の改善**」につながる振り返りができている生徒は、どのくらい？

見通し 目標の設定をどうするのか？

～できるようになる

(例)手紙を書く



どのようにできるようになる

(例)どのような手紙を書く
どのように手紙を書く

振り返りたくなる目標（課題）設定

途中チェックせざるを得ない目標（課題）設定 振り返りの視点

次は、どうなりたいのか？

どうして振り返るのか

振り返って良かった、自分の役に立ったという実感を持たせる

振り返りについて

フィードバックも大事

自己評価に対するアドバイス

[A]ワークのC問題など、いろんな問題にチャレンジして自分の力をのばそう。また、周囲の人に教えてあげよう。

[B]くり返し問題を解き、速く正確にできるようにしよう。基本から応用へ、学習を発展させてみよう。

[C]教科書の例や例題を読んでワークのA問題やB問題に取り組み、基礎・基本を確認しよう。

[D]教科書をよく読み、例や例題をまねながら、フォームやワークのA問題に取り組みよう。

友達から、先生から
何をフィードバックするのか
ここに指標を活かす？
効率的にできる仕組みも大事

学んだこと

- もっと書こう
- 理由を書いて
- 何を学んだの
- 次の課題は？
- がんばって！
- 伸びてます！
- よい自己評価
- すばらしい

- 1 復習タイプ 講義型
- ・教師に質問する。
 - ・NHK for school等の動画資料
 - ・ワーク等の例題の解説など

- 2 復習タイプ 問題型
- ・教科書の問題を解く。
 - ・ワークの問題を解く。
 - ・キュビナで問題を解く。

- 3 予習タイプ
- ・教科書を読む。
 - ・NHK for school等の動画資料
 - ・ワーク等の例題、キュビナ

- 4 計算力アップタイプ
- ・キュビナで問題を解く。
 - ・ワークの問題を解く。
 - ・問題を作りあって解き合う。

- 5 貢献タイプ
- ・教える、ヒントを出すなど、直接的な貢献
 - ・テスト問題づくり、ポスター作りなどの発信タイプの貢献

- 6 探究タイプ
- ・単元で見つけた「問い」の解決
 - ・パワポやcanvaで探究の成果を発表
 - ・生活と数学を結びつけたような事例を探る・・・など

子どもが自分で選ぶ

・ **キュビナで確認！**

・ **動画資料を確認！**

・ **友達同士で学び合い**

いきなり「自由に」できるとは思えない・・・という方に

全てを自由にすると逆に困惑する人がいるかもしれない。

3パターンくらい用意しておき、

自分で選ぶことから始めるのもいいかもしれない。

今自分に必要な学びを理解する

取り組み後の変容をどこで見取るか

家庭学習への取り組み方の変容

- 単なる時間を無駄に使った写しの時間になっている
- 誰のためでもない、提出するためのノート
- 埋めるために計算を大きく 4 問など

本人にとって、意味のあることをさせたい→ノートオンリーで果たしていいのか？

これまでの「秋田の」家庭学習を考え直す

- ? 全員が同じノートに書いてくる意図は何か？
- ? 家庭学習 5 教科のみの意図は何か？
- ? 盲目的に「1人1P」を強要していないか？
- ? 家庭学習は「何のために」やるのか？

自立した学習者を育成するためには、どうしたらいいのか？

提案

実験的に家庭学習の方法を変えてみては？
さらに、一定期間フォームで自分の家庭学習の
リフレクトをとり、自分の家庭学習をグラフで
見て課題を見出すことに取り組んでみてはどう
だろう。

中仙中での提案

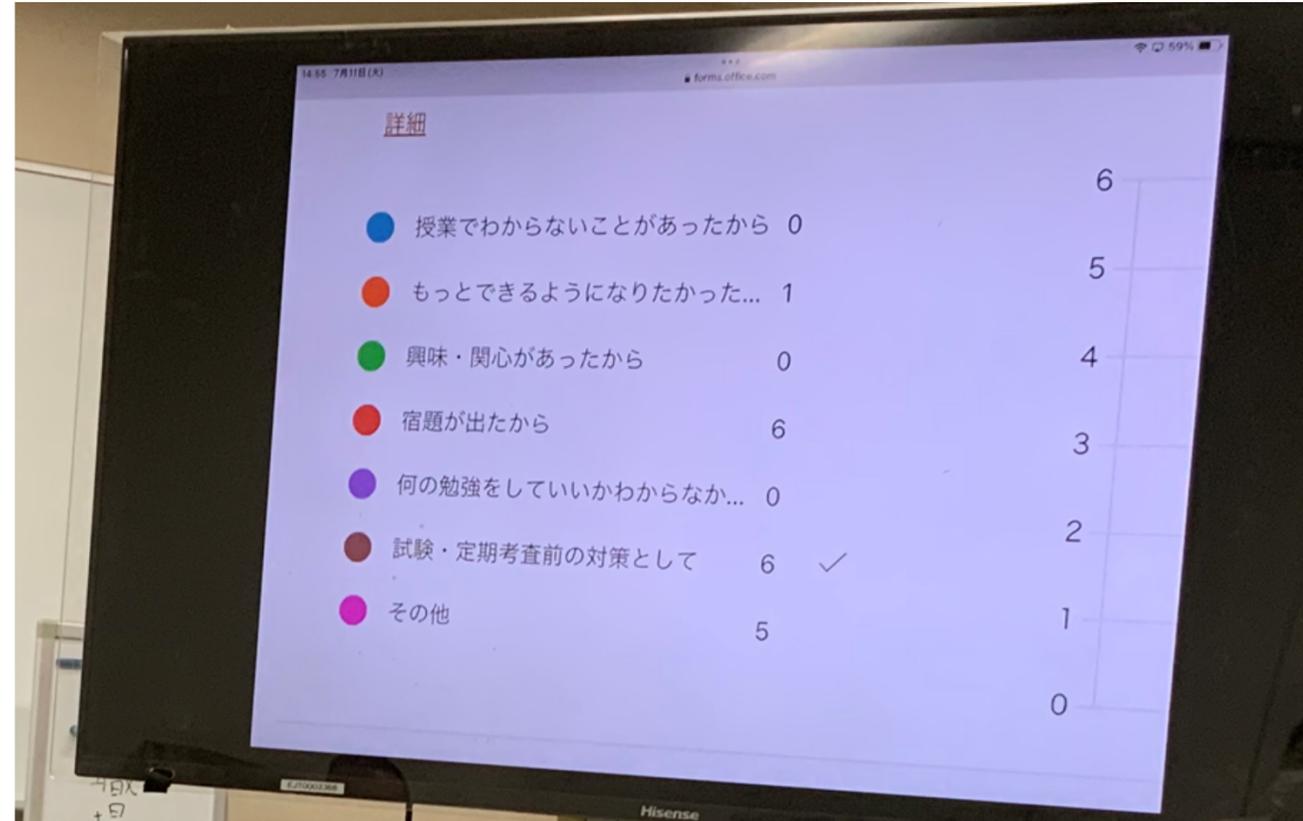
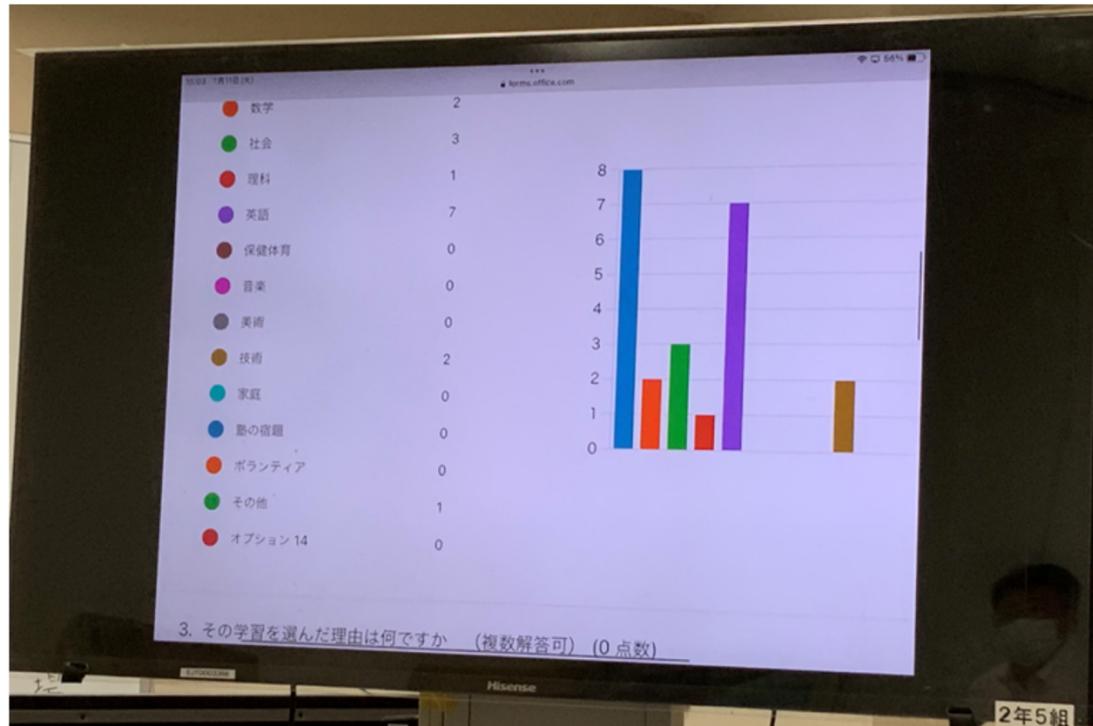
3. その学習を選んだ理由はなんですか？（複数回答可）*

- 授業でわからないことがあったから
- もっとできるようになりたいから
- 興味・関心があったから
- 宿題として出されたから
- 何の勉強をしていいかわからなかったから
- テストの対策として
- その他

4. どのような学習方法でしたか？（複数回答可）*

- まとめる（比較・分類・関連付ける）
- 探究学習（広げる・深める）
- 実際に体験した活動（実験・観察・制作など）

家庭学習への取り組み方の変容



自分の家庭学習を振り返り、視覚的にわかりやすくすることで今の自分を知り（メタ認知）、今後どのようにしていくべきか考えることができる（できやすくなる）

世田谷区立芦花中学校さんの取組を参考にさせていただきました。

2年部では、毎朝家庭学習のリフレクションを付けさせ自分の取組を記録しています。月に2回ほど教員と生徒で面談をし、このリフレクションをもとに学習の進め方や効果などを話し合い、試行錯誤をさせています。学ぶことの意味をしっかりと考えさせ、意味のある時間を創り出す、そして自立した学習者になるための取組です。

講演会振り返り

2024. 1. 12

対面参加 : 75名
リモート参加 : 9名
オンデマンド視聴 : 17名

中仙地域

リーディングDXスクール 研修会 & 講演会

今年度、中仙地域（豊成小・中仙中学校）がリーディングDXスクール事業の指定を受け、日々の学校生活（校務・授業・学校間連携等）の中でICTを活用し授業改善や校務の負担削減について研究を行ってきました。今回は、これまでの取組を紹介し、どの学校でも活用できる実践やヒントを多くの先生方と共有したいと考えています。

また、この度、東京学芸大学附属小金井小学校のお二人の先生をお招きし、DXスクールの最前線の実践を紹介していただく機会をいただきました。ICTに興味のある方はもちろん、今後の学校教育やインクルーシブ教育などに興味のある方は是非ご参加ください。

演 題

ICTを活用したインクルーシブ教育の実現



鈴木 秀樹 先生

東京学芸大附属小金井小 教諭

ICTを活用したインクルーシブ教育の実現が主要研究テーマ。生成AIを授業で活用する研究にも取り組んでいる。【著書】ICT×インクルーシブ教育 誰一人取り残さない学びへの挑戦



佐藤 牧子 先生

東京学芸大附属小金井小 養護教諭

校内ではICTを活用したインクルーシブ教育に取り組む。学校外ではマイクロソフト認定教育インベーター、大日本図書教科書編集委員などとして活動。

リモート参加・オンデマンド希望の先生方へ
リモート・オンデマンドの方も申し込みをお願いします。

Teams内にある「教育研究所」チームのRoom 03で配信予定です。参加できない方でもRoom 03で録画された講演を是非お聴きください。

主催：豊成小学校、中仙中学校
お問い合わせ：中仙中学校 LDX担当 田中真二郎 0187-56-2328



2024
1月12日(金)

中仙市民会館
ドンバル ホール

◆タイムスケジュール◆

9:10 受付
9:30 開会
9:35~ 実践発表
豊成小/中仙中
これまでの取組について
10:20~ 講演
11:50~ 質疑応答
12:00 閉会



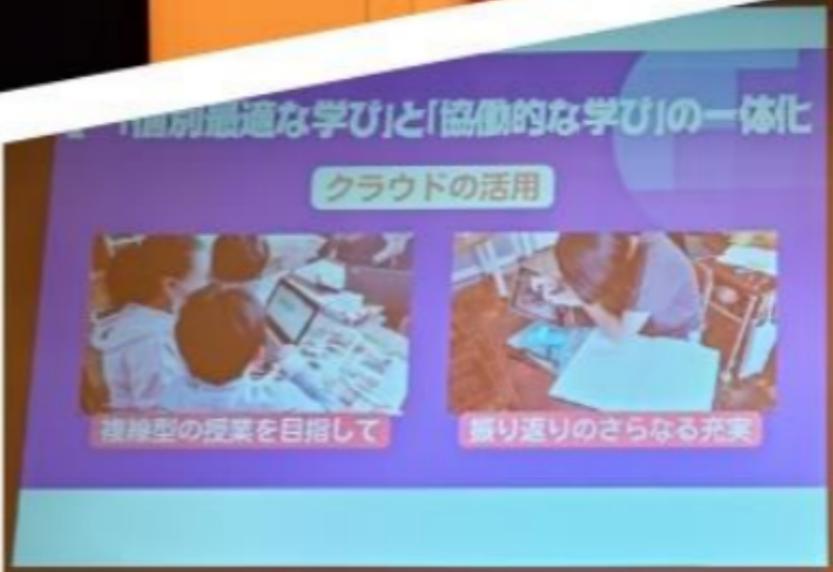
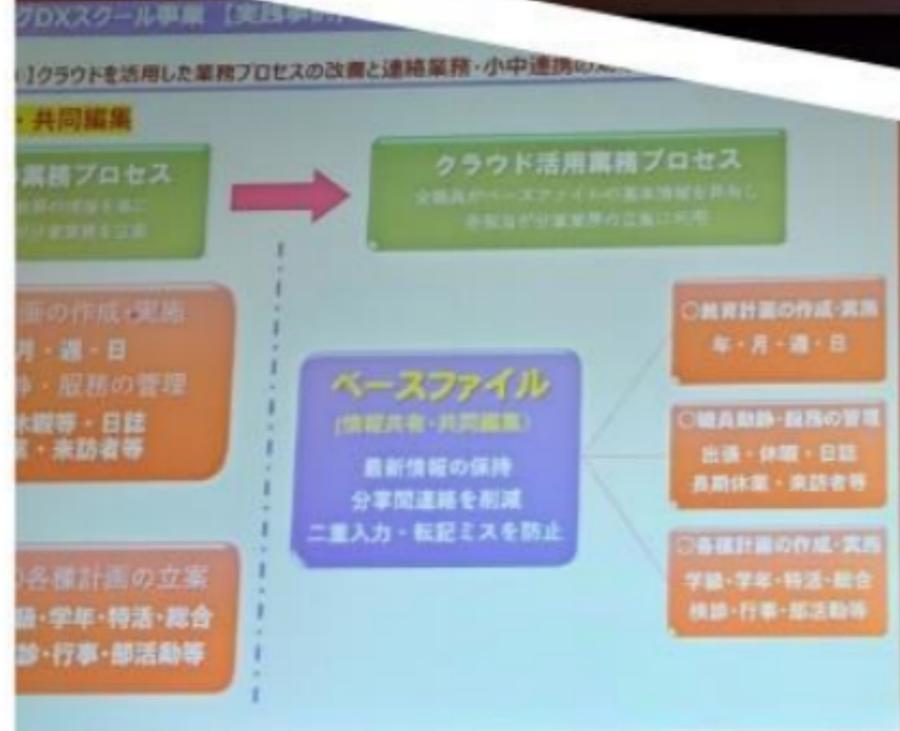
※参加できない教員のために、
オンデマンド視聴の準備を実施予定

QRコードからお申し込みください。

授業でも
生徒会活動でも
校務でも
いつでも
どこでも・・・
とにかく使う！



Canvaで作成したAI画像



小中学校連携 コスモスプロジェクト



生徒会執行部の場合

中学校の生徒会活動と小学校の児童会活動をつなぐ目的で取り組んでいます。

中学校が主導する地域貢献活動（コスモスプロジェクト）を地区にある3つの小学校の6年生に説明しています。今後はそれぞれの活動を紹介し合い、地域の良さを共有します。

また、全小中でリモート会議を行い、なかせんネットチャレンジというネット利用、メディアバランスに関するルールの策定を行いました。

ICT朝活 始めました タイピングスキル向上の時間

報道委員会ICT部門の場合



毎週木曜日は、「ICT朝活」と称して全校生徒がICTに関わる活動に取り組んでいます。

初めはタイピングスキルの向上を目的として行なっていましたが、より情報活用スキルを高めるために、ショートカットキー講座やデジタルシチズンシップ講座など、ICT担当生徒が企画し、全校生徒向けに発信しています。

地区の小学校でもタイピングスキルの特設の時間を設け、スキルアップに取り組んでいます。

ICT朝活 始めました タイピングコンテスト

報道委員会ICT部門の場合



学校対抗の交流戦を実施



主催 西仙北中学校 ICT 委員会・中仙中学校報道委員会 ICT 担当

いぞ、勝負！各校のタイピング勇者

日々のタイピングスキル向上を目的にした朝活の成果を見るために、タイピングコンテストを企画しています。校内の代表選手を決めた後は、他校の代表選手と戦うという、eスポーツのような感覚で朝活をしています。

これがやる気となり、休み時間もタイピングを頑張る生徒がいます。

ICT朝活 始めました ショートカットキーをマスターせよ！



報道委員会ICT部門の場合



ICT朝活の様子。ショートカットキーをマスターする目的で、最初は講義型、その後、グループでKAHOOTを使ってクイズ形式で学びました。みんな楽しんで学んでいました。こうしたゲーミフィケーション的な要素をもっと取り入れて楽しく朝活していこうと考えています。

タイピングスキルはすでに高まっているので、情報の編集や発信に特化したスキル向上に取り組んでいきたいと考えています。

ICT朝活 始めました デジタルシチズンシップ教育

報道委員会ICT部門の場合



フェイクニュースを見破るポイントや写真から個人情報を探る活動など、様々なアプローチからデジタルシチズンシップ教育を進めていく予定です。

また、動画サイト等を積極的に活用し、朝活の時間に生徒に考えさせるような活動を行っていく予定です。NHKforSchoolを積極的に活用しながら、朝の短時間でも学びが多く、楽しみながら学べる時間にしていきます。

内容は、ICT担当の生徒が選び配信しています。

The screenshot shows the NHKforSchool website interface. At the top, there's a navigation bar with 'NHK for School' and various utility buttons like '先生向け ON' and '先生向けとは'. Below that, a video player is displayed with the title '@media' and a subtitle 'アッ!とメディア'. The video content shows a news report about Pope Francis endorsing Donald Trump, with a large text overlay that reads 'フェイクニュース ウソの情報でつくられたニュース'. To the right of the video player is a 'チャプター' (Chapter) sidebar with a transcript for 'scene 01 金色のハクビシンが公園に出没?'. The transcript includes dialogue between characters named Yuta and Miku. At the bottom of the page, there's a section titled 'アッ!とメディア ~@media~' with a subtitle 'そのニュース広めて大丈夫? ~フェイクニュース~' and a short paragraph of text.

中仙地域の小学校と連携して ネット利用に関する意識改革

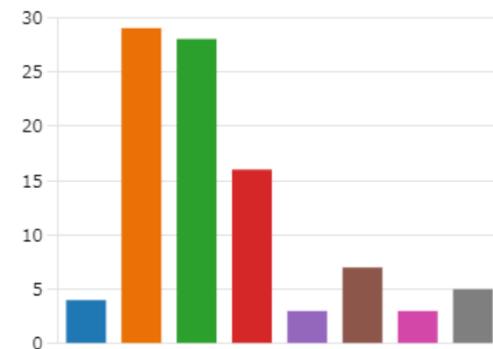
養護教諭の場合



3. メディアを使った時間

詳細 [インサイト](#)

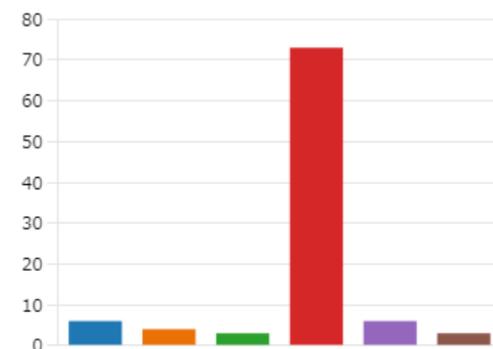
- 1日使わない 4
- 30分まで 29
- 30分から1時間まで 28
- 1時間から1時間30分まで 16
- 1時間30分から2時間まで 3
- 2時間から2時間30分まで 7
- 2時間30分から3時間まで 3
- 3時間以上 5



4. 主に使ったメディア

詳細 [インサイト](#)

- ゲーム機 6
- パソコン 4
- タブレット 3
- スマホ 73
- テレビ 6
- その他 3



5. 主に使ったこと

詳細

- ゲーム 17
- 動画を見る 46
- SNS 25
- その他 7



生徒会の保健委員会を主導に地域の小学生や中学生のネット利用の意識を高める取組を行いました。「なかせんネットチャレンジ」というもので、中学生が主体となってルールを話し合い設定し、地域の児童会とリモート会議を行いながらネット利用の実態や各校での取組などを話し合いました。保護者にも協力してもらいながら現在も取り組んでいます。生徒、保護者にアンケートをとり検証しています。（左図）デジタルシチズンシップ教育をより推進していく予定です。